

市民くらぶ

このページは、市民の情報コーナーです。みなさんの作品や、あかちゃんの写真を募集しています。
また、広報あさくらへの意見やまちの話題など、いろいろな情報をお待ちしています。

【人事秘書課広報統計係】

★ 満一歳おめでとう ★

 江藤 友哉ちゃん 7月15日生(男/一木) 父=大貴・母=由香理	 櫻井 湊斗ちゃん 7月9日生(男/甘木) 父=雅邦・母=祐花	 吉里 奏郁ちゃん 7月25日生(男/頓田) 父=孔憲・母=優美	 内野 太陽ちゃん 7月28日生(男/一木) 父=寛之・母=晴美	 牟田 優菜ちゃん 7月5日生(女/屋永) 父=真人・母=祐子	 窪山 湊士ちゃん 7月27日生(男/一木) 父=道人・母=裕子
 浦塚 葵ちゃん 7月5日生(女/古毛) 父=一彦・母=真由美	 北岡 広琉ちゃん 7月13日生(男/甘木) 父=健治・母=優奈	 黒岩 謙翔ちゃん 7月10日生(男/一木) 父=祐一郎・母=奈美	 山下 真心斗ちゃん 7月18日生(男/堤) 父=豊和・母=亜沙美	 淵上 遥来ちゃん 7月18日生(女/堤) 父=幸樹・母=美希	 大内田 寿晴ちゃん 7月20日生(男/頓田) 父=秀一・母=香奈子

8月1日号「満一歳おめでとう」コーナーの申し込みは7月8日(金)までに市人事秘書課広報統計係(市役所本庁3階)へ。
デジタルカメラ・スマートフォンで撮った写真はプリント不要です。メモリーカード、またはそのまま持参してください。

朝倉市出身! 若手女性神職

「中川瑞穂」さんに注目!

杷木地域を中心に神職として、お祭りなどに参加している中川瑞穂さん。
杷木地域に限らず、市内のさまざまなお祭りに呼ばれるなど、地元の人々に愛され、活躍している市内では2人しかいない女性神職です。



杷木出身の中川瑞穂さんは、久喜宮日吉神社の権禰宣(ごんねののり)です。神職になったきっかけを尋ねてみると、「新聞に掲載されていた女性神職さんに手紙を出し、京都の学校を紹介していただきました。歴史の勉強と神社のことを学びたいと思い進学しましたが、最初は神職という職業がよく分かっていませんでした。でも、勉強をしていくうちに先輩神職さんの所作や立ち居振る舞いに魅了されるようになって、神社や神職についてもっと知りたいという意識が芽生えてきました」と返ってきました。

中川さんの地元は、昔ながらのお祭りが数多く残されている所で、「おしろい祭り」や「泥打ち祭り」などは奇祭とも呼ばれ特に有名です。「子どものころから見てきた地元のお祭りも、神職という立場で関わると、見方が変わってきます。」



大山祇神社のおしろい祭りって、収穫感謝と豊作祈願のお祭りだったんだと改めて気付かされました。おしろいには、しとぎといって水に溶いた米の粉を塗りますが、地域にはそれを神饌として、神様にお供えする神社もあります。それぞれの神社の歴史やお祭りの特徴を知っていくことにも興味を感じています。

現在は、日吉神社や杷木地域のお祭りだけでなく、甘木朝倉広範園において神職と舞の披露、指導などで活躍されています。

「これからも地域のお祭りに積極的に関わりたいと思います。皆さんから認めてもらい、神職として独り立ちできるように頑張りたいです」と今後の抱負を話してくれました。

けんこう! Cooking

県栄養士会・福祉栄養士協議会 管理栄養士

はったい粉ムース

■材料(6人分)・・・ゼラチン3g、水30ml、三温糖42g、水60ml、生クリーム200ml、びわのコンポート適宜、はったい粉30g、ホイップクリーム適宜

■作り方・・・①粉ゼラチンは、水30mlを加えてふやかしておく。②鍋に三温糖と水60mlを入れて火にかけ、沸騰させないように砂糖を溶かす。③砂糖が溶けたら火から外し、ふやかしたゼラチンも入れてよく溶かす。④生クリームを6分立てにする。⑤生クリームにゼラチン液を少しずつ加えながら混ぜ、続けてはったい粉も加えてなめらかに混ぜる。⑥容器に移し、冷蔵庫で冷やし固める。⑦器に盛り、でき上がりにびわと生クリームを添える。



1人分235kcal

お詫びと訂正

広報あさくら6月1日号25ページの「まちかどウォッチング」の中に誤りがありました。正しくは次のとおりです。お詫びして訂正します。

【正】旧日本将棋連盟あさくら支部
【誤】朝倉将棋連盟



広報文芸

【広報文芸応募方法】ハガキまたは封書に三句以内と住所・氏名・電話番号を記載し7月8日(金)【必着】までに直接選考者に応募。

俳句 (井上醇女選)

気力なく昼寝に逃げる。と日かな
甘木 上野 真
聞き覚えある声を背に蚤狩
美奈宜の杜 重松 眞
寄り添ふて浸る足湯や若葉風
堤 柏木 勝利
再会の友の笑顔や新茶汲む
堤 立花 多佳子
薔薇剪れば母の面影よみがえる
杷木志波 森高 美佐子

川柳 (平井良子選)

今月の題「救」

病む夫の笑顔にホット救われる
牛鶴 芹田 智恵
舞い上る救具つけての川下り
杷木久喜宮 佐藤 敬二
六日ぶり救助のニユー子笑顔
植原 武井 民子
疲労増す地震にも耐え救助隊
杷木久喜宮 井上 伊八
救援機へリ音響く熊本へ
小限 西村シゲ子

短歌 (古賀雅選)

ひい孫の寝姿愛らし足音を
気遣ひながら幾度も見る
杷木池田 吉松 直枝
音もなく降りつぐ雨も嘆く
かや友の急逝ししみ想ふ
堤 品川百合子
じいちゃんが釣りし大きな鯉
魚拓家の鴨居で泳いでいたり
甘木 吉澤 孝夫

【広報文芸応募するときの注意】
広報文芸への応募は、俳句・川柳・短歌のいずれかひとつでお願いします。

川柳次の題は「植」 【広報文芸応募先】俳句は井上醇女さん(〒838-0064 朝倉市頓田14-2) 川柳は平井良子さん(〒838-0068 朝倉市甘木1074-2)、短歌は古賀雅さん(〒839-1301 うきは市吉井町桜井359)へ。
※応募作品は、未発表・ご自身の作品に限ります。